



たのしい学苑生活

新年度がスタートして3週間が経ちました。利用者さんにとって、学苑生活はたのしいものになっていますでしょうか。新しい職員や新しい利用者さんとの活動に、まだ少し慣れない方もおられるかもしれませんが、おおむねたのしい学苑生活になっているのではないかなあと、私自身は思っています。

利用者さんにとってもそうですが、職員がたのしく働ける学苑でなければならないとも思っています。働きたくない学苑であれば、利用者さんとの生活がたのしいものになるはずがありません。利用者さんの活動をよりよいものにしていくことと同じように、職員の働く環境についてもしっかりと考えていきたいと思っています。



泳げ！こいのぼり

作業台の上の白い布に、黒い●が描いてあると思ったら、カラフルな目になり、利用者さんの青い手型によって鱗となり、元気なこいのぼりに変身しました。



これは、先週末のさくらグループ創作活動でできあがりつつあるこいのぼりです。完成したら、学苑の空で元気に泳いでくれるものと思います。こいのぼりは1匹だけではなく、もう1匹もできあがりつつありますので。

集中して作業に取り組む 花心



農芸班の仕事も午前中で終わり、午後は受注作業に入ったある日の午後のことです。

職員が2人お休みで、残りの2人もエースにタマネギの納品に出かけました（担当者が変わったことによる顔合わせもありましたので）。その間、私ひとりで見守ることになったのですが、何の心配もありませんでした。

ひとりひとりが、自分の仕事に黙々と取り組んでいました。すばらしいなあと改めて感じたところでした。この仕事の成果として、啓文社さんの信頼を得ることができているのだと思います。

ご家族の方で、時間に都合がつかれる時で構いませんので、利用者さんと一緒に仕事をされてみませんか。連絡帳等で知らせていただくだけで構いません。また、生活介護グループの活動でも、一緒にされてみませんか。